～ 3年生 地域の先輩に学ぼう ～

2025.6.20･23

3年生は総合「大好きにいがた体験 つばさのもの知り博士になろう」の学習で,お招きした2名のゲストティーチャーから,新通つばさ小学校周辺の昔から現在に至るまでの暮らしや街の様子についてお聞きしました。

子どもたちは自分たちの地域のことにとても興味がある様子で,最後まで真剣な表情でお話を聞いていました。質問の時間では, たくさんの子どもが手を挙げていました。

昔の生活が今の暮らしのもととなっていることを知ることができ, 大変良い学びになりました。つばさのもの知り博士となり, これからも地域のことを大切にしていきます。

ゲストティーチャーの皆さま,貴重なお話をしていただき,ありがとうございました。

第１回目のゲストティーチャー

400年ほど代々農業をされているそうです。昔の天候・暮らし・遊び・街の様子を教えていただきました。

「ヒーターはあった？」「スーパーは？」「食べ物をどうやって保存していた？」など，質問タイムではたくさん質問があり，その答えをみんな興味津々に聞いていました。

・つくし・よもぎを採って食べた
・大きなカエルがたくさんいて大合唱
・春になると清々しい良い匂いがした

自然豊かな新通つばさ地区だったことや,

・人の家の柿を取っても怒られなかった

地域の人々が子どもたちを可愛がっていたこと,

・野球などで遊ぶ際には，道具ではなく自然のものを利用して遊んだ
・田んぼの用水に泳いでいた魚を捕まえるためミミズをえさにした

子どもたちはみんな知恵を使っていたことをお話されていました。

第２回目のゲストティーチャー

新通で生まれ育ち，お家は専業農家だったそうです。

小学校の時の周辺の写真を持ってきて下さいました。

当時は,

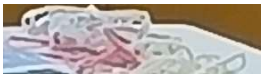
・周りは田んぼだらけ
・道が砂利道

今の様子と違う昔の写真を見て，子どもたちは驚いていました。

遊びは

・あやとり
・笹の葉で船を作って水に浮かべる

あやとりはつなげて跳んだりしたそうです。



リヤカーで魚を運んで持ってきてくれる魚屋さんがいたそうで，リヤカーを描いて下さいました。

昔は，ご近所の皆さんをよく知っており（屋号で呼んでいた！），互いの家同士で助け合って生活していたそうで，新通つばさ地区の人々のあたたかな人柄がうかがえました。

新通つばさ地区の良いところを自分たちで調べたり，行ってみたり，話を聞いたりして，たくさん発見してほしいとの応援メッセージをいただきました。